

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	主要市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業費を拡大するため、補助金の導入を積極的に図る。市民ニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト削減のための整備手法の更なる検討。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	事業費を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。
②①に基づく取り組み結果	事業費を拡大するため、社会資本整備総合交付金を積極的に導入した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行う。
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合った幅員や舗装となっていなかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	主要市道の舗装改良及び排水整備を行った。 (1)市道2号線舗装改良工事(L=319.5m)、(2)市道13号線舗装改良工事(L=267.3m)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	370	59	1318	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	370	429	1747	m	業務取得
iii	「道路の状況」不満足度		—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	18,659	94,901	金額(千円)	内容	215,905		
国支出金(千円)	6,610	19,067	25,313	市道2号線舗装改良工事	31,240		
県支出金(千円)			28,389	市道13号線舗装改良工事			
市債その他(千円)					114,400		
一般財源(千円)	12,049	75,834			70,265		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市道13号線舗装改良工事他8路線	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	市道13号線舗装改良工事他8路線を整備。	142,383	143,425	当初	96,476	94,901
				H24⇒25繰越	11,642	
③達成状況	未完了			補正	35,307	現年分
④未完了・非着手の理由	市道5号線他の用地交渉、警察協議に時間を要するため。			流用・充当		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		25,700

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	一般市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民ニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト縮減のための整備手法の更なる検討。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	市民のニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト縮減のための整備手法の更なる検討。
②①に基づく取組み結果	整備手法の検討を行い、社会資本整備総合交付金を導入した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市道	意図(対象をどうするのか)	安全でゆとりのある道路に整備する
②事務事業の概要	道路整備による地域環境の向上のため、道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生活道路となる一般市道が未整備で、舗装整備や道路排水整備の必要があった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	一般市道の舗装改良及び排水整備を行った。 (1)市道1517号線排水整備工事(L=188.5m)、(2)市道1513号線舗装改良工事(L=422m)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	182	106	1009	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	182	288	1297	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	7,387	32,628	金額(千円)	内容		45,364	
国支出金(千円)		5,231	16,691	市道1517号線排水整備工事			
県支出金(千円)			7,241	市道1513号線舗装改良工事			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	7,387	27,397				45,364	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、一般市道の整備は不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	舗装等整備	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	市道1517号線排水整備工事他5路線	38,020	38,020	当初	38,020	32,628	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			
③達成状況	未完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由	市道3661号線他道路境界確認に不測の時間を要した。			流用・充当			32,628
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		2,614	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	私道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価の掲げた内容	市民ニーズに対応すべく、コスト縮減のための整備手法の更なる検討。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	市民のニーズに対応すべく、コスト縮減のための整備手法の更なる検討。
②①に基づく取組み結果	私道整備の舗装構成を一般市道整備の舗装構成よりも簡易的なものとし、コストの縮減を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	私道	意図(対象をどうするのか)	舗装整備工事を行う。
②事務事業の概要	道路整備による地域環境の向上のため、未舗装私道の舗装を推進し地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始当初は多くの私道が未舗装で日々の生活や環境・衛生面に悪影響を及ぼしていたが、本事業の推進により未舗装区間が少なくなってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	鎌ヶ谷市私道舗装整備要綱に基づき、整備用件の整った私道について舗装を実施した。私道舗装整備事業(3組合)(L=103.2m)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	509	236	103	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	509	746	849	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	3,375	2,573	金額(千円)	内容		1,500	
国支出金(千円)			2,573		私道舗装整備工事		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	3,375	2,573					1,500

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	私道舗装整備要綱の要件の緩和が今後の検討課題となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市道整備の要望が多数あり、私道整備と市道整備のバランスを取る必要があるため、現状を継続する。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	私道舗装整備	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	私道舗装整備工事(道路管理組合3件)	2,580	2,580	当初	2,580	2,573	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業の進捗を図るため、事業主体である千葉県と連携を図るとともに、必要な財源の確保を図る。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	事業主体である千葉県と連携を図るとともに、必要な財源の確保を図る。
②①に基づく取組み結果	用地の取得にあたり、事業主体の千葉県と連携し、事業の進捗を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・5号線	意図(対象をどうするのか)	地元負担金を支払う。
②事務事業の概要	事業主体である千葉県に対し、地元負担金を支払う。事業延長280m、幅員18m、用地面積4,220㎡、事業認可平成13年12月10日～平成31年3月31日。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	南初富区間から新鎌ヶ谷地区まで供用開始したことにより、県道船橋我孫子線のバイパスとしての機能を発揮することが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	県事業による都市計画道路3・4・5号線の用地(89.8㎡)取得。(県事業)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	14,313	10,005	金額(千円)	内容	3,000		
国支出金(千円)			10,005	県事業への負担			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)	11,900						
一般財源(千円)	2,413	10,005			3,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	県道船橋我孫子線(栗野十字路)との接続形状について県と協議する必要性がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	・地元負担金 ・地権者と用地交渉を行う。(県事業)	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	・負担金を支出した。 ・用地約89.8㎡を取得した。(県事業)	10,005	10,005	当初	3,000	10,005	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正	7,005		
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・3・16号新鎌ヶ谷南線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	—	③平成26年度に取組む改革・改善内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。
②①に基づく取組み結果	—		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・3・16号線	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	都市計画道路3・3・16号線の測量委託を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)		2,998	金額(千円)	内容	3,000		
国支出金(千円)			2,998	測量委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		2,998			3,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	設計図書作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	測量委託を実施し、設計図書を作成した。	3,000	3,000	当初	3,000	2,998	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(新鎌ヶ谷)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	—	③平成26年度に取組む改革・改善内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。
②①に基づく取組み結果	—		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	都市計画道路3・4・10号線(新鎌ヶ谷)の測量委託を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)		2,998	金額(千円)	内容	3,000		
国支出金(千円)			2,998	測量委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		2,998			3,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	設計図書作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	測量委託を実施し、設計図書を作成した。	3,000	3,000	当初	3,000	2,998	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(交差部)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	—	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。
②①に基づく取組み結果	—		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	都市計画道路3・4・10号線(交差部)の測量委託を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)		2,998	金額(千円)	内容	3,000		
国支出金(千円)			2,998	測量委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		2,998			3,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	設計図書作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	測量委託を実施し、設計図書を作成した。	3,000	3,000	当初	3,000	2,998	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(中沢)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	—	③平成26年度に取組む改革・改善内容	都市計画道路の計画変更に向けて関係機関と協議を行うとともに、予備設計、路線測量を行う。
②①に基づく取組み結果	—		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	計画変更及び予備設計、測量を実施し、道路整備を図る。
②事務事業の概要	都市計画道路の計画変更に必要な概略設計を行い、その後、予備設計、測量を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	一級河川大柏川第二調節池整備事業及び地元要望に伴い都市計画道路の計画変更が必要となった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	概略設計委託の着手						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)		0	金額(千円)	内容	25,500		
国支出金(千円)							
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)					25,500		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。また、現道との接続方法を決定すること。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一體的な整備が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	概略設計	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	概略設計の着手	5,500	5,500	当初	0	H24からの繰越	
③達成状況	未完了			H24⇒25繰越		0	現年分
④未完了・非着手の理由	警察協議等に不測の時間を要するため。	平成26年度への繰越額(単位:千円)		5,500			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	道路維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	小高仁志			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	道路整備後、長年経過している道路が多く、劣化、損傷等が著しいためパトロール業務により適正な管理を進める。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	法定点検に対応するためのしくみ検討。
②①に基づく取り組み結果	道路パトロールを実施し、劣化箇所の補修を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図(対象をどうするのか)	市民の安全性・利便性の確保
②事務事業の概要	道路の適正な維持管理を行うため、補修工事、清掃などを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	主に9つの業務を行うことにより、安全性の確保、道路の耐用年数の延伸、道路構造の強化、道路環境の保全などの成果を得た。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	「道路の状況」満足度	16.3	16.3	14.5	%	市民意識調査
	ii	道路パトロール日数	104	104	128	日	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	137,248	268,715	金額(千円)	内容		204,015	
国支出金(千円)	12,087	83,320	742	道路愛護活動報償		66,987	
県支出金(千円)			26,000	道路補修・清掃委託			
市債その他(千円)			205,032	舗装、側溝補修等			
一般財源(千円)	125,161	185,395	16,000	排水管(溝)清掃委託		137,028	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	248,368	281,099	当初	120,021	268,715	H24からの繰越	18,606
				H24⇒25繰越	25,500			
③達成状況	未完了			補正	128,347		現年分	250,109
④未完了・非着手の理由	道路施設の点検において国交付金を活用するため			流用・充当	7,231			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		4,000		